

全国「道の駅」シンポジウム in 飯豊

飯豊宣言

私たち、全国の「道の駅」関係者は、本日ここ「東北の飯豊」に相集い、全国「道の駅」シンポジウムin飯豊を開催しました。

平成5年4月の第1回登録の103駅から始まった「道の駅」は、今年8月の第57回登録で新たに4駅が追加され、計 1,198 駅と10倍以上に増加しています。

こうした中、国土交通省では2020年から2025年までを「道の駅」第3ステージと位置付け、「道の駅」を地方創生と観光を加速する拠点とするために、各地の自由な発想と熱意の下、「道の駅」の世界ブランド化を目指したインバウンド観光の拠点化や、広域的な防災機能を担う「防災道の駅」の導入、あらゆる世代が「道の駅」を有効活用できる環境を提供する取り組み等を行っています。

シンポジウムでは、【道の駅「第3ステージ」】の中間年となる今、各道の駅が「生活」や「観光」などの拠点として、いかにして地域全体の活性化に資する取り組みを行って行くべきか、また、モデルとなる道の駅のあり方を皆で考え地域づくりの核となる「道の駅」とはどうあるべきか議論を深めました。

私たち、全国の「道の駅」関係者は、今に満足することなく更なる飛躍を目指し、全国の道の駅が『地方創生・観光を加速する拠点』となり道の駅だけでなく地域社会と共に大きな発展を遂げることを、ここに宣言いたします。

令和4年10月21日

全国「道の駅」シンポジウムin飯豊実行委員会

委員長 飯豊町長 後藤 幸平